

# わたしの プロジェクト 北海道

## スタッドレスタイヤ長持ちさせる

スタッドレスタイヤは、タイヤ表面の摩擦と、くっつき合おうとする凝着力などによって滑りこくくなるといわれる。ところが、ゴムが硬化したり劣化したりすると凝着効果が弱まり、数年の冬で交換しなければならぬ。

冬の凍結路面に欠かせないスタッドレスタイヤを少しでも長持ちさせたい。そんな北国特有の望みから生まれた機械がある。旭川市の機械設計「イー・アイ・エス」が開発し、今冬から道内の自動車部品店など3店が導入した。タイヤの表面をわずかに削ることで、ツルツル路面での性能が息を吹き返す。同社は今夏から受注生産に本腰を入れる構えだ。

(旭川支局・中村尚徳)

## 表面削って性能回復



タイヤ4本を約20分で研磨する。ゴムが劣化し過ぎた場合は、交換した方がいいオートレット旭川店で

## 評判上々、生産も本格化

今冬から旭川、釧路両市の中古自動車部品販売店など3店が導入。大手自動車用品会社や東北地方のガソリンスタンドも導入を検討している。

現在、特許出願中。同研究所と共同研究で摩擦係数などの実証実験も続けている。松井社長は「少しでも長持ちすれば経済的。廃タイヤも減りますよ」と話している。

6、7年前、松井隆社でおらず、表面だけを削る(48)の疑問から開発は始まった。また4、5回の冬しか越しておらず、夏タイヤなら使える溝の深さも残っているのに、もったいない。タイヤの内部は劣化し、適と、昨冬に試作1号機を造った。

約150台分を研磨し、アンケートで効果を目撃したところ、回答した15人全員が「制動距離が短くなった」「発進しやすくなり、横滑りしにくくなった」と答えた。

問い合わせ先はイー・アイ・エス(0166・60・5677)。ホームページアドレス<http://aist.jp>